

第7回 遠賀川流域生態系ネットワーク形成推進協議会

連携・協働アクションプランの具体的取組について

令和 6年 7月 31日

遠賀川流域生態系ネットワーク形成の取組（概要）

■生態系ネットワークの目標

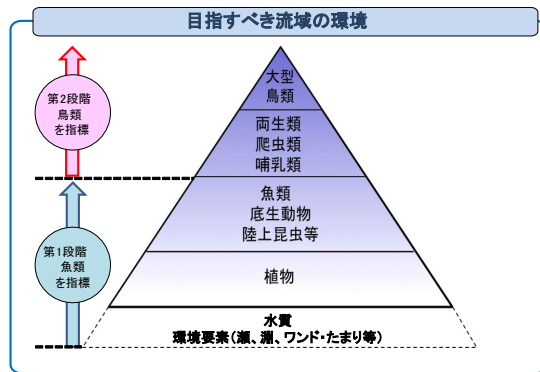
- 石炭産業が盛んになる明治期以前の自然環境に近づける。
- 実現した自然環境と歴史・文化的資源を有機的につなげ、地域や住民の豊かな生活を実現する。

■生態系ネットワークの進め方

- 生態系ピラミッドの下位の生物から整えていく「ボトムアップ方式」により展開を図る
- ポテンシャルの高いホットスポット等の拠点を回廊でつなぎ、点から線、線から面への展開を図る
- 得られた豊かな自然を、歴史・文化的資源と有機的につなげて地域づくりへの展開を図る

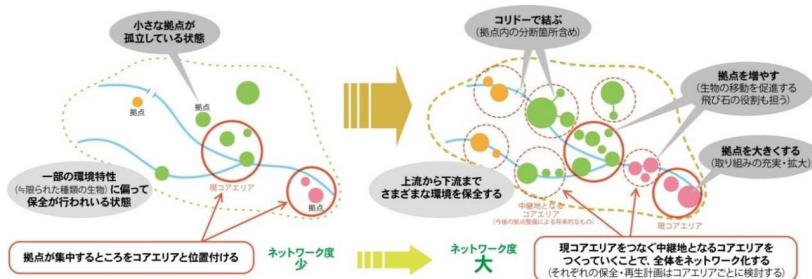
■ボトムアップ方式

水質→植物→動物（魚類、大型鳥類）



■展開イメージ

点（ホットスポット）を増やす→線→面



■アクションプランの取組内容

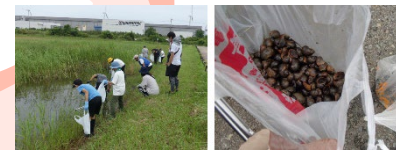
14の個別アクションプランがある

アクションプランの取組内容			
NO	取組内容	NO	取組内容
①	河口域干潟の保全・再生	⑧	里地・里山における水辺のネットワーク形成
②	河川の縦断的連続性の保全・再生	⑨	流域の環境を守る人材の育成
③	河川とその周辺の横断的連続性の再生	⑩	豊かな自然と歴史・文化的資源を活かした地域振興
④	河川における湿地環境の保全・再生	⑪	流域における多様な主体の連携
⑤	外来生物の駆除等	⑫	生態系に関する情報共有★
⑥	人の営みと自然が調和した農地環境の保全・再生	⑬	生態系に関する情報発信★
⑦	人の営みと自然が調和した森林環境の保全・再生	⑭	生態系に関する普及啓発活動★

■連携・協働アクションプランの具体的取組

○外来生物対策

- ・ スクミリンゴガイを対象生物とし、今後、勉強会等を実施、駆除、利活用等を検討



○自然環境

- ・ 既存のフットパスと動植物散策マップを組合わせる



○社会環境

- ・ 取組の情報発信・共有
- ・ 既存のイベントを活用して普及啓発



(1)連携・協働アクションプランの具体的取組 (外来生物対策)

■ 外来生物対策WGのテーマと取組の関係

第6回協議会資料に加筆

【テーマ】 外来生物の駆除、外来生物取り扱いルール等による 生物多様性の保全と新たな観光産業の創出

➤ 外来生物に関する学びと問題意識の啓発

- ・外来生物に関する勉強会による知識向上
- ・外来生物についてHP・SNS・チラシ・広報誌等での住民への周知による問題意識の啓発

➤ 外来生物の駆除

- ・外来生物(オオキンケイギク:開花期5月～6月)の駆除
(例:春の遠賀川一斉清掃と併せた駆除、点検・巡回時の駆除、通報を受けての駆除、企業等との連携による駆除)
- ・オオキンケイギク生育分布の経年変化の把握
(例:通報・巡回等による確認箇所や駆除実施箇所のマップ作成)
- ・ルールに沿った外来生物の駆除

R5オオキンケイギク
マップ作成予定

➤ 外来生物取り扱いルール

- ・駆除対象外来生物のニーズ把握と選定
→スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)を選定
- ・外来生物対策検討会(仮称)の立ち上げ、関係者間調整、取り扱いルール作成・周知

ニーズ把握
→スクミリンゴガイ
→勉強会を開催予定

生物多様性の保全

➤ 新たな観光産業の創出

- ・外来生物の活用事例の収集・活用検討(例:釣り、食事、エコツアー等)

実施済みの取組

今後の取組

(1)連携・協働アクションプランの具体的取組 (外来生物対策)

※連携・協働アクションプランの具体的取組は、進捗に応じて適宜見直します

第6回協議会資料に加筆

【テーマ】 外来生物の駆除、外来生物取り扱いルール等による生物多様性の保全と新たな観光産業の創出

取組み内容	場所	役割分担		スケジュール	
		中心	協力	R4～R8(短期)	R9～(長期)
➤ 外来生物に関する学びと問題意識の啓発					
● 外来生物に関する勉強会による知識向上	流域全体	国、県、市町村	住民等	外来生物勉強会	
● 外来生物についてHP・SNS・チラシ・広報誌等での住民への周知による問題意識の啓発	流域全体	市町村	国、県、住民等	HP、チラシ等による周知	
➤ 外来生物の駆除					
● 外来生物(オオキンケイギク:開花期5月～6月)の駆除(例:春の遠賀川一斉清掃と併せた駆除、点検・巡回時の駆除、通報受けての駆除、企業等との連携による駆除)	流域全体	住民等	国、県、市町村	オオキンケイギク駆除	
● オオキンケイギク生育分布の経年変化の把握(例:通報・巡回等による確認箇所や駆除実施箇所のマップ作成)	流域全体	国、県、市町村	住民等	オオキンケイギクマップ	
● ルールに沿った外来生物の駆除	該当市町村	住民等	国、県、市町村		
➤ 外来生物取り扱いルール					
● 駆除対象外来生物のニーズ把握・選定(例:オオクチバス、アライグマ、スクミリンゴガイ等)	該当市町村	市町村	国、県	ニーズ把握→スクミリンゴガイ	
● 外来生物対策検討会(仮称)の立ち上げ、関係者間調整、取り扱いルール作成・周知	該当市町村	市町村	国、県	立ち上げ調整ルール作成周知	
➤ 新たな観光産業の創出					
● 外来生物の活用事例の収集・活用検討(例:釣り、食事、エコツアー等)	該当市町村	国、県、市町村	住民等	活用事例収集活用検討	

実施済みの取組 今後の取組

(1)連携・協働アクションプランの具体的取組 (外来生物対策)

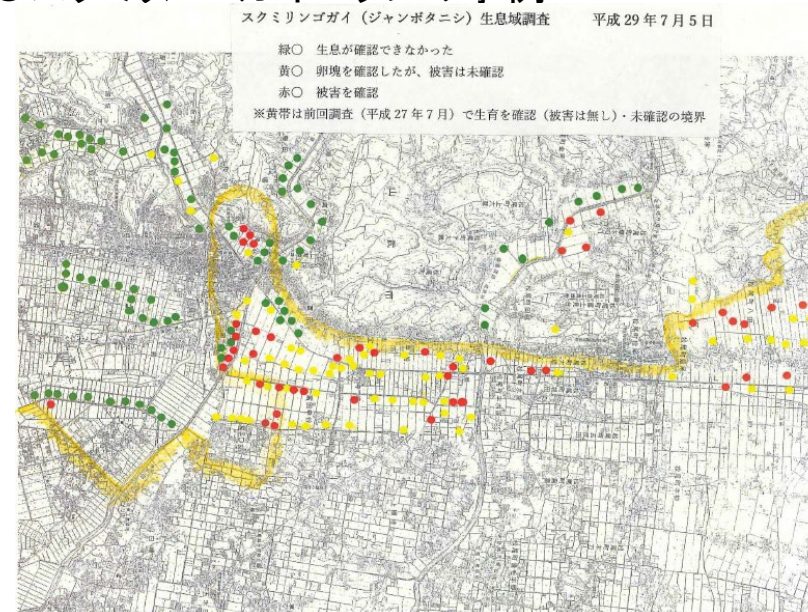
■外来生物の駆除

○スクミリンゴガイ駆除の事例



出典: 北九州市響灘ビオトープ

○スクミリンゴガイマップの事例



出典: 千葉県

■普及啓発

○外来生物リーフレット



○オオキンケイギク駆除マニュアル、リーフレット



出典: 岐阜県



出典: 千葉県

(1) 連携・協働アクションプランの具体的取組 (自然環境)

■ 自然環境WGのテーマと取組の関係

第6回協議会資料に加筆

【テーマ】 環境にやさしい農作物の生産等の支援とブランド化の支援

➤ 環境にやさしい農作物の生産等の支援

環境にやさしい農作物の例

- ・減農薬・無農薬農法による河川水質への負荷低減
- ・耕作放棄地の利活用による湿地環境創出と田んぼダム等流域治水への貢献
- ・荒廃した森林の適切な維持管理(植林、間伐)を通じた水源涵養による雨水流出抑制、間伐材の利活用

- ・環境にやさしい農作物の生産活動に関する事例収集と支援の検討(例:販路機会提供(物産品フェア等)、公共調達(学校給食等))

- ・環境にやさしい農作物の生産活動についてHP・SNS・チラシ・広報誌等での情報発信、共有

- ・生物が河川と水田を行き来することのできる農地環境創出に向けた関係機関調整(例:エコロジカルネットワーク再生事業等)

・エコネット住民WG
・エコネット検討会

➤ 環境にやさしい農作物ブランド化の支援

- ・環境にやさしい農作物のブランド化に関する勉強会

- ・ブランド化支援対象の抽出(例:れんげ米、源流米)

- ・環境にやさしいブランド農作物の生産活動支援の検討(例:販路機会提供(物産品フェア等)、公共調達(学校給食等))

- ・エコツーリズム、食事など観光産業への展開

(例:遠賀川流域散策マップの作成

農業体験(Do you 農)

食品開発(学校との協働)等)

中島(中間市)で
イメージ作成

経済効果

生物多様性、生態系の保全

定住人口増加

実施済みの取組

今後の取組

(1)連携・協働アクションプランの具体的取組 (自然環境)

※連携・協働アクションプランの具体的取組は、進捗に応じて適宜見直します

第6回協議会資料に加筆

【テーマ】 環境にやさしい農作物の生産等の支援とブランド化の支援

取り組み内容	場所	役割分担		スケジュール	
		中心	協力	R4～R8(短期)	R9～(長期)
➤ 環境にやさしい農作物の生産等の支援					
●環境にやさしい農作物の生産活動に関する事例収集と支援の検討(例:販路機会提供(物産品フェア等)、公共調達(学校給食等))	流域全体	市町村	国、県、住民等	環境にやさしい農作物事例収集	
●環境にやさしい農作物の生産活動についてHP・SNS・チラシ・広報誌等での情報発信、共有	流域全体	市町村	国、県、住民等		
●生物が河川と水田を行き来することのできる農地環境創出に向けた関係機関調整(例:エコロジカルネットワーク再生事業等)	流域全体	国、市町村	住民等	エコロジカルネットワーク再生事業	
➤ 環境にやさしい農作物のブランド化の支援					
●環境にやさしい農作物のブランド化に関する勉強会	該当市町村	住民等、市町村	国、県	勉強会 栃木県小山市の事例	
●ブランド化支援対象の抽出(例:れんげ米、源流米)	該当市町村	住民等、市町村	国、県		
●環境にやさしいブランド農作物の生産活動支援の検討(例:販路機会提供(物産品フェア等)、公共調達(学校給食等))	該当市町村	住民等、市町村	国、県		
●エコツーリズム、食事など観光産業への展開(例:遠賀川流域散策マップの作成、農業体験(Do you 農)、食品開発(学校との協働)等)	該当市町村	住民等、市町村	国、県	遠賀川流域散策マップ等の情報収集、散策ルートの設定	

 実施済みの取組
 今後の取組

(1)連携・協働アクションプランの具体的取組 (自然環境)

■散策ルートマップ事例

○全国・自然歩道を歩こう月間

令和元(2019)年度「全国・自然歩道を歩こう月間」実施行事一覧(10/1～10/31)							
都道府県	期日	大会名	主催者	開催地	歩道・コース名(距離)	大会概要	
福岡県	1	10/6(日)	森はともだち	筑豊の自然を楽しむ会	福岡県飯塚市 勝盛公園	散策路 (600～800m)	市内公園を散策しながら、虫や植物等の生き物観察を行います。 発見した生き物について、専門家が解説します。
	2	10/6(日)	第14回 背振クリーンアップ登山	背振の自然を愛する会	福岡県福岡市 背振山系	椎原登山口から鬼ヶ鼻岩往復 (11km)	みんなで、ごみ拾いをしながら山登りする。地球環境に優しいクリーンアップ登山です。
	3	10/12(土)	初心者向け！親子ハイク	福岡県自然環境課	福岡県筑紫野市	基山コース (4時間程度のコース)	九州自然歩道の気楽なコースを、自然を感じながら歩きます。
	4	10/14(月祝)	初心者向け！親子ハイク	福岡県自然環境課	福岡県添田町	美彦山コース (4時間程度のコース)	九州自然歩道の気楽なコースを、自然を感じながら歩きます。
	5	10/23(水)	秋の自然観察と山登り	(公財)おおのじょう緑のトラスト協会	福岡県大野城市牛頸山	牛頸ルート (6km弱)	牛頸山(標高448m)を、植物や動物の専門家と一緒に自然観察しながら登ります。
	6	10/27(日)	いいねん!	筑豊の自然を楽しむ会	福岡県飯塚市健康の森公園	散策路 (片道約900m)	市内公園を散策しながら、虫や植物等の生き物観察を行います。 発見した生き物について、専門家が解説します。 フィールドワークの後は、エコ工房内でワークショップを行います。

出典:飯塚県土整備事務所

○植木フットパス

5月26日植木フットパスを行いました

5月26日(日)植木フットパスが行われました。

当日は晴天で暑かったが熱中症などの事故もなく無事にコースを回り終えました。

参加者は25名で、2グループに分かれ、10分おきに植木駅を出発し、地元のガイドの案内で日吉神社から岡分公民館裏～牟田池～中学校～庄境～天満宮～真如寺～と回り、途中梅の実を拾い集めながら本横公民館に帰着し、梅シロップを作り、解散しました。



出典:直方市

○遠賀川中島(中間市)散策マップイメージ

遠賀川中島 植物を巡る散策マップ 春編



○なかまフットパス(土手ノ内コース)



出典:中間市

(1) 連携・協働アクションプランの具体的取組 (社会環境)

第6回協議会資料に加筆

【テーマ】生態系に関する多様な主体の連携

➤ 多様な主体の連携のための基本ツールの作成と活用

・遠賀川流域生態系ネットワークのロゴマーク作成（コンセプトの検討、公募、決定）とその活用

・流域内の生態系保全に資する情報のアーカイブ化とその活用

○Youtubeにて公開
・外来生物勉強会

・持続可能な情報発信ツールの採用検討とその活用（例：生態系情報図の活用、メーリングリスト、SNS等）

流域住民の生物多様性保全
に関する意識醸成

生物多様性の保全

➤ 多様な主体が活動しやすい仕組みづくり

・生態系保全に関する人材、資材の調整・融通
（人材の例：外来生物やブランド化の勉強会に関する講師、環境にやさしい農作物を使った食品開発のできる学生等）
（資材の例：外来生物駆除に必要な罠、環境学習で使用する調査機材等）

・関係機関の既存イベントを通じた取組の普及
（例：ふくおか水もり自慢！、エコスタいいづか等における発表等）

○展示・発表
・ふくおか水もり自慢！
・幸袋まつり（飯塚市）

環境教育、環境保全活動の効率化、
ノウハウの蓄積

人・物のネットワーク形成

実施済みの取組

今後の取組

(1)連携・協働アクションプランの具体的取組 (社会環境)

※連携・協働アクションプランの具体的取組は、進捗に応じて適宜見直します

第6回協議会資料に加筆

【テーマ】生態系に関する多様な主体の連携

取り組み内容	場所	役割分担		スケジュール	
		中心	協力	R4～R8(短期)	R9～(長期)
➤ 多様な主体の連携のための基本ツールの作成と活用					
● 遠賀川流域生態系ネットワークのロゴマーク作成 (コンセプトの検討、公募、決定)とその活用	流域全体	国、県、市町村		コンセプトの事例収集 検討、ロゴマーク作成	ロゴマーク活用
● 流域内の生態系保全に資する情報のアーカイブ化とその活用	流域全体	国、県、市町村		アーカイブ化、活用	
● 持続可能な情報発信ツールの採用検討とその活用 (例:生態系情報図の活用、メーリングリスト、SNS等)	流域全体	国、県、市町村		生態系情報図 ツール検討、活用	
➤ 多様な主体が活動しやすい仕組みづくり					
● 生態系保全に関する人材、資材の調整・融通 (人材の例:外来生物やブランド化の勉強会に関する講師、 環境にやさしい農作物を使った食品開発のできる学生等) (資材の例:外来生物駆除に必要な罠、環境学習で使用する 調査機材等)	流域全体	国、県、市町村	住民等	講師の派遣 人材、資材の整理、	資材の調整・融通
● 関係機関の既存イベントを通じた取組の普及 (例:ふくおか水もり自慢!、エコスタいいづか等における 発表等)	流域全体	国、県、市町村 住民等		イベント展示・発表	

 実施済みの取組
 今後の取組

(1)連携・協働アクションプランの具体的取組 (社会環境)

■情報のアーカイブ化

・外来生物勉強会の内容を
Youtubeにアップ(アーカイブ化)し普
及啓発に活用した。



■既存イベントを通じた取組の普及

・令和5年11月5日、幸袋まつりにおいて、飯塚市目尾地区エコロジカルネットワークの取組についてパネル、水槽展示を行った。

・令和5年12月3日、ふくおか水もり自慢in遠賀川において、遠賀川流域生態系NWの取組について発表し流域内外の地域住民等へ普及啓発した。



幸袋まつり(飯塚市)



ふくおか水もり自慢in遠賀川(嘉麻市)

(仮称)遠賀川流域連携サポーター制度(案)

■(仮称)遠賀川流域環境サポーター制度(案)

住民、企業、団体等が一体となって、遠賀川流域の環境保全・再生に取り組むための制度
地域の協力者を募集し、環境保全・再生にともに取り組むとともに、内容はとりまとめ報告すること等を予定。(詳細は検討中のため、今後変更の可能性があります)

水源林の維持管理



外来生物の駆除



清掃活動



治水・防災活動



中島ヨシ原の維持管理



放置竹林等の維持管理



多自然水路の維持管理



環境学習

